

令和元年度 市民意識調査 反映状況

	調査項目（実施課）	反映状況
1	市民満足度調査 （企画課・広報課）	市民満足度調査の設問は、第3次静岡市総合計画に基づく本市の市政に対する市民満足度を測る項目であり、一部の設問については、総合計画の評価項目に設定されていることから、調査結果を総合計画の進捗状況把握等へ活用している。
2	図書館の利用について （中央図書館）	<p>《令和2年5月4日 実施》 『過去一年間に図書館を利用しなかった』市民の理由として、「図書館に興味がない」という回答が24.3%となっており、図書館に「イベントの拡充」や「情報発信」を求める意見も多かったことから、Twitterで他市町の図書館アカウントとコラボを行い、おすすめ本の紹介を行っている。また、ユーザー参加型として、図書館のクイズを出題し、図書館のPRを行っている。イベントの拡充については、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら検討していく。</p> <p>《令和3年4月1日～ 実施》 図書館に市民が求めることとして、「一般資料の充実」が31.9%と最も多く、各図書館別に充実してほしい一般資料の分野も希望があることから、令和3年度の予算配分にあたり館ごとに重点的に収集したい分野や事業を挙げ、予算配分時に反映させた。</p>
3	道路規制情報について （道路保全課）	<p>《令和3年5月1日～ 実施》 道路規制情報を提供している「しずみちinfo」を知らない市民が88.3%と非常に多く、その内、利用してみたい市民が36%(40代については46%)いることから、広く周知を図る取り組みとして、令和2年度は、広報しずおかへの掲載を実施に加え、各区の広告付き窓口番号案内システムでの放映を実施。併せて、広報しずおか裏面下段にQRコードを毎月掲載。また、しずおか生活ガイドブックへのQRコードの掲載を実施。</p> <p>《令和3年7月以降 実施予定》 静岡市のTwitter等での「しずみちinfo」の案内を実施予定</p>
4	再犯防止相談支援事業について ※「再犯防止推進事業」から令和3年に 名称変更 （福祉総務課）	<p>《令和3年3月24日 実施》 市内3か所の矯正施設について、認知度は60.5%で施設に対しネガティブなイメージを持つ意見が多かった。これらの結果を踏まえ、犯罪をした者が社会復帰を果たし、地域で孤立することなく、地域の一員として社会生活を送るための取組を推進するため、令和3年3月に静岡市再犯防止推進計画を策定した。 また、同計画に基づく事業として、再犯防止相談支援事業を令和3年4月から開始している。</p>
5	市民主体のまちづくりを推進する 人材の育成について （生涯学習推進課）	<p>《令和2年3月～ 実施》「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」を知っている市民は5.4%であったことから、タウン誌への「こ・こ・に」講座紹介記事や、活躍している講座修了生を紹介する記事の掲載をするなどして周知を図った。</p> <p>《令和2年9月～ 実施》 平日に市民が講座を受講しやすい曜日と時間帯は「金曜日の夜間」(16.6%)だったため、令和2年度から市民大学リレー講座の開催曜日及び時間帯について見直しを図り、「金曜日の夜間」に設定して実施した。</p>
6	芸術文化等の振興について （文化振興課）	<p>《令和5年4月 実施予定》 「静岡市は、身近に芸術文化等が感じられるまち」と思う回答が26.2%、思わない回答が33.6%だった。調査結果を踏まえ、メディア芸術やインターネットの活用など、文化を取り巻く動向や市民の文化活動状況に対応しながら、今後の文化振興計画の見直しに向け活用していく。</p>